

2022度

## 認定こども園 自己評価表

社会福祉法人 京都基督教福社会

幼保連携型認定こども園

桂ぶどうの木こども園

**【評価対象期間】**

2022年4月1日から2023年3月31日

**【評価責任者】**

京都市西京区桂久方町114

園長 中江奈穂美

## 認定こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目

### ◎保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。 (1)		○			「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ0歳児から就学前までの保育・教育を行っている。教育・保育計画は前年度の反省や気づきが活かされるよう職員間で話し合い作成している。研修や会議を通して課題を共有し取り組みを進めている。
	目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。 (2)		○			
	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。 (3)		○			
	目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。 (4)		○			
保育・教育について	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。 (1)		○			それぞれの年齢に応じた年間指導計画の下、一人一人の発達を踏まえた期・月・週の計画を立て、さらに個別支援を要する園児の指導計画をたてて援助している。各指導計画を基本とし保育日誌等の記録を通して振り返りを行い次の実践につなげている。
	環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。 (2)		○			
	素材・用具を適切に活用しているか。 (3)		○			
	評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。 (4)		○			
日時程	1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。 (1)		○			きめ細かな年齢による発達に応じた流れで過ごし状況に応じて柔軟な対応をしている。
行事について	行事の種類や実施回数は適切か。 (1)		○			行事の内容等を見直ししながら進めているが、子ども・保護者・保育者の負担を軽減する方向での更なる見直しは必要。行事は保護者の方と子ども・保育者がふだんの保育の様子を共有しともに歩むという思いで取り組んでいるが、そういった観点での計画・評価・改善を今後も行っていかなければならないと考えている。行事後は、アンケートや連絡帳などで意見や感想を把握し、次年度の活動に活かしている。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。 (2)		○			
	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。 (3)		○			
	保護者の願いや意見を取り入れているか。 (4)		○			

◎保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。		○		全体でも協力できる職員体制をめざして運営している。クラスを越えて連携して取り組むことを意識してそれぞれの役割を確認しながら進めている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		職員会議の他フロア会議等各種会議を行い、共通理解、情報共有に努めている。日々の連絡事項や会議録の回覧や掲示等で更なる周知を行っている。
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむこと (2) となく施設の運営に関わっているか。		○		
	年齢別・クラス経営	年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。 (1)		○		保育目標・子どもの実態に即した指導計画を作成し取り組んでいる。幼児は縦割り保育を基本として取り組み異年齢間の活動を充実している。PDCAサイクルに基づいて評価改善をおこない実践を高めるようにしている。
		年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。 (2)		○		
		同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。 (3)		○		
		(4) 評価・資料(諸記録)を集積しているか。		○		
	保健・安全指導	年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。 (1)		○		隔月で保健だよりを発行し保護者・園児の健康意識の向上に資するとともに、保育者の健康指導の参考としている。安全計画に基づく毎月の避難訓練を通じて園児・保育者の安全意識を高めるよう努めている。
		避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。 (2)		○		
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発 (3) を行っているか。		○		
	情報の扱い	乳幼児や保護者に関する個人情報適正に取り扱っているか。 (1)		○		個人情報保護の重要性を理解し配慮や取り扱いについて周知実行している。また、個人情報が含まれる書類の管理や処理の取り扱いについても注意している。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○		
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○		安全点検、遊具点検、消防用設備点検を定期的に行い安全を確認している。防犯カメラを園の各入口に設置し安全確保に努めている。保護者へのお知らせは掲示板(玄関、各部屋)を使用し、連絡事項の確認や感染症の状況、写真の掲示による活動の紹介等有効に活用している。	
	遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。 (2)		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。 (4)		○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			コロナ渦の中、小学校との交流の機会を制限せざるを得なかったが、情報交換の機会を持ち把握に務めている。
		(2) 参観や保育・事業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。		○			個別に園見学をしてもらうことでじっくりと園の様子も見てもらっている。乳児は親子で保育の中に入って過ごす機会を設けている。乳児(0歳児)は、学期ごとに期間を決め、1歳児クラスからはお誕生日月に保育の中に入れてもらう、保育参観を計画している。近所の老人施設との交流の機会をもったり、敬老の集いに招待をしたりしている。ホームページに園の保育の様子を載せたりしている。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			園庭開放等を通常の保育の中に参加する形で運営し在園の子どもと触れ合う機会を設けている。離乳食を作っている会等で子育てについて学ぶ機会を設けている。地域の子育て支援ネットワークに参画し連携を図っている。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			園だより・クラス便り・ホームページ等で保育に関する情報を発信している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			第三者評価は3年に一度受診している。保育に関するアンケートを定期的にとり保育の改善につなげている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			

乳児((

園庭併